

2000年
10/21・22

第9回全国知的障害者スポーツ大会 ゆうあいピック岐阜大会



10月19日から23日まで
の4泊5日で、ゆうあいピック
岐阜大会に千葉県代表として、
フライングデイスの部で飯田
弘文さんが選手として参加して
きました。東京駅に集合し出発
式を行なった後、他の千葉県代
表選手と共に新幹線に乗り込み
出発。午後には岐阜羽島駅に到
着し、バスで岐阜市内のホテル
に到着。目前には長良川が、前
方高台には岐阜城を望む景色の
素晴らしい所でした。

最初は緊張していた飯田さん
も徐々に慣れ、夜は他の選手と
一緒にプロ野球を見ながらうち
とけ合っていました。

20日に公開練習をし、21日は会場となった岐阜市メ
モリアルセンター長良川競技場で、高宮殿下・同妃殿下
をお迎えしての開会式が盛大に行われました。
他の選手に参加しましたが、私はコーチとして
21・22日競技をみなければならぬ為、飯田さんといっ
ても側にいられるわけではありませんでした。その結果、彼
は自主的に他県の選手と話をするようになり、友達もでき
て本人にとっては良い経験になったと思います。
結果は、デイスを輪に入れるアキュラシーが10枚中4
枚、距離を競うデイスが35m・43cmで、千葉県代表
チームで総合2位と好成績を残すことができました。大会
後の後夜祭に出席したり、皆で新幹線の旅を経験したりし
てきて、飯田さんは色々な行事で今回知りあった選手やコ
ーチに再会することを楽しみにしているようです。
今後にも多くの経験をしてほしいと思います。(武内)



2000年
12/23

20世紀 忘年会 & クリスマス会



昨年の大きなリボン飾りにつけ加え、今年も更にす
てきなイルミネーションに挑戦！と意気込んでみまし
たが、電飾担当が男子指導員2人。おしゃれに飾らう
とするものうまくいきませんでした。しかし、当日
は部屋を暗くしてスライチを入れてみると、クリスマ
スの雰囲気いっぱい、思わずニコニコリ！

会では利用者、保護者、職員を交えての懇談会。昼
食をとりながら保護者は日常生活の様子を、職員は自
宅での様子を聞くことができました。皆サントアさんか
らのブレゼントをもらってうれしそうです。(佐瀬)



2001年
1/8



お正月を自宅で過ごして帰ってきた皆様と、
21世紀始めの新年会を行いました。
司会は、荒原指導員。姿勢での登壇に会場
のみんなも驚いていました。余興として「二
人羽織」が行われ、利用者とは指導員、保護者
が参加しました。思ったより難しく、顔が汚
れてしまいいくくの笑いを取っていました。途
中、かわいいういぐの鳥のぬいぐるみやアパンマン
が登場し、利用者たちも大喜びでした。
外では保護者の方



に手伝ってもらい
餅つきが行われ、
つきたてのお餅
を皆で食べ、
大満足でした。
最後に
今年の年男・
年女がくす玉
を割り、終了し
ました。(遠藤)

2001年
2/21

第4回 千葉ゆうあいピック 駅伝大会

風を切って颯爽と駆け抜ける。平素の練習
の成果を出すべく、自分たちの力を全て出し
て前へと進む。それは孤独な闘い。

去る2月21日、千葉ゆうあいピック駅伝
大会が行われた。今年で4回を数えるこの大
会に学園から4チーム、18名が参加した。
クオーター4区間10.52kmには3チーム、エ
イス3区間5kmには桔梗女子チーム、ロード
レース1区間1.38kmには3人がエントリー
した。



昨年9位入賞した桔梗Aチームは、今年順
位を2つ上げ7位入賞と大活躍だった。又、
第1回から3大会連続で入賞している桔梗女
子チームも8位入賞と素晴らしい成績を取め
た。他の参加者も入賞には少し及ばなかった
が、自分の力を出してくれた。「走り終った
後の爽快感、充実感を財産にこれからも練習
に励んでいきたい。」選手達の顔にはそう書
いてあるように思えた。(高橋)

2001年
3/6・7

21世紀 1泊旅行

3月6・7日、南房総1泊2日の旅行に行
ってきました。暖かく快晴という天候の中、
最初の目的地である“休暇村館山”に向かい
ました。バスの車窓からは、春を感じさせ
きれいな花と光り輝く大きな海を眺めながら、
到着したレストランで食事をとりました。レ
스토랑の窓からは、館山湾が一望できて皆
大満足でした。

食後は“南総パラダイス”へ向かいたくさ
んの花や植物が咲いているのを観察したり、
鳥や動物と遊んできました。そしていよいよ
今夜の宿泊地「かんぼの宿鴨川」に到着。グ
ループごとに別れ、夕食までの時間、お風呂
に入り旅の疲れを癒しました。夕食は全員一
緒にレストランで海の幸の食事を取り、その
後各部屋に戻り、就寝までの時間を自由ま
まに過ごしました。

2日間の楽しい時はまたたくまに過ぎ、た
くさんの思い出を胸に、皆元気に帰ってきま
した。(藤田)

